

第16回 『こんにゃく畑、大豆畑の草取り』

と き 平成22年7月24日(土) 9:30 - 16:30

ところ な～に谷っ戸ん田、谷戸奥ハウス裏の畑、堀の内の畑

天 気 ほぼ快晴、真夏日(東京で4日連続の猛暑日は気象庁開闢?以来の記録とか)

参加者 石田、磯(昼から)、霧生(3時まで)、高橋(3時まで)、福富(昼まで)、松本洋子(3時まで)

ゲスト・福井さん+姪の瑞希ちゃん(小1)、大沼さん(それぞれ1時半まで)

ハンモック研究会・野地さん

合計9名 + 子ども1名

【午前】

- ・ 少数精鋭レギュラープラス助っ人で谷戸のハウス裏の畑の草取り、こんにゃくとかぼちゃを覆っている草を抜き取る。やがて畑はすっきりと。石田さんは草刈機で周りの草刈。ゲストの福井伯父は草刈機を習う。あまりの暑さに午前中に2度休憩、休憩中のウメソーダに身も心も洗われる。グリーン産ブルーベリーは即刻完売

【昼食】

ハンモックランチ トウモロコシの夏ご飯、カフェメニュー ウメソーダなど

テツさんは、コマツの社員とノコギリクワガタオス2匹、カブトオス1匹捕まえてごきげん

一方、ミズキちゃんは詩吟を披露、その後ハンモック初体験

霧生さんの岩手土産(かもめの卵)、高橋の岩手土産(ゴマせんべい)・・・一緒に岩手に行ったとか行かないとか、この手の話は加藤先生や高見さんがいないせいか、まったく盛り上がりず。

さらに、石田さんより高級メロンの差し入れ、田んぼの用水のマスでたんたんと冷やしていただきました。

【午後】

- ・ 堀の内に移動する前にハウスのトマトを収穫するも、ハウスはジャングル状態で収穫もいまいちだった。もう少し、手をかけて管理をするべきと思った次第である。
- ・ 石田さんは雑木林のジャングルに挑戦、刈り払い機で蜂の巣をぶったたき、群に襲われる。が、小さめの蜂に左手薬指と右の頬を刺されたのみ、ムヒを塗って、腫れもせずダイジョウブだった。さすがは野蛮人とほめられた石田さんですが、翌朝から手が腫れて、午後から頬も腫れてくる。それでも、自宅で飲んでからピアパー、さらに2軒をハシゴしたからというわけではないが、翌々日になって、手と顔が腫れているとの事後報告あり(当たり前の自業自得というヤツ)。
- ・ 堀の内の畑へ移動。先々週蒔いた大豆は順調に成長していると思われる。ところどころにピンクの豆が露わになっているので、そっと土をかぶせる。これは先週の追い播きの分。追い播き後雨が少ないせいもあるが、発芽が少ない。
- ・ 草取り完了。草は少なかった、鎌でおっかいて退治。
- ・ 石田さんと磯さんがトラクターで耕運する(大豆横の未耕部)。さっそく、6羽の椋鳥が虫を啄ばみにやってきた。
- ・ 石田さんは畑周囲を草刈機で草刈。
- ・ 霧生さん、松本さん、高橋は所用があり3時で終了。
- ・ 堀之内畑の耕耘完了後解散のはずが、なぜか谷っ戸ん田で再び石田さん磯さんが遭遇。
- ・ 田んぼ隅に植えてあった補植用苗がぼうぼうに伸びていたためふたりで引っこ抜く。抜かずに放っておくと病気の原因になるんだとか。
- ・ 引っこ抜いた苗の中からはなぜかカブトムシ出現。こやつ暑さでとち狂ったか。カブトムシ、ゲンゴローではないわいな(オソマツ)

16:30再解散。

【その他】

- ・ 松本さんから「暑気払いの日程を8/7(土) 15:00(準備開始)、17:00(本チャン開始)にしたい」との相談がありました。

- ・各自一品(逸品?)持ち寄りスタイルで。
- ・なにか軽く調理したいですね、ということで暑さもふっとぶトムヤンクンでも、というアイデアが出ています。
- ・ということで、次回作業は、7/31(土) 9:30- @ 谷っ戸ん田です。(でいいんですよね)

(記録 : hi -lucky 高橋)
